

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

新しいPTA活動のあり方

～糟屋地区家庭教育支援チーム（かすや子育て研究会かぶとむし）～

令和元年7月6日（土）10：45～11：45、サンレイくかすや（粕屋町）にて「新しいPTA活動のあり方」をテーマに研修会が開催されました。講師は、糟屋地区家庭教育支援チームの南里門子さんです。志免中央小学校でのPTA会長の経験を基に、よりよいPTA活動のあり方について、講話、質疑応答等を行っていただきました。



【南里さんの講話の様子】

- ① 模擬提案「小学校PTA改革について」 ～イントロダクション～
 - ・ボランティア制度導入
 - ・分かりやすい情報発信
 - ・会員の交流の場づくり
- ② 模擬提案について討論 ～グループディスカッション～
 - ・協力できる人が増えそう 主体的に、参加できる
 - ・働いているお母さんにとってもやさしい
 - ・退会する方がでたらどうなるのだろうか
- ③ 新しいPTA活動のあり方の実際について ～これまでとこれから～
 - ・事前の調査から見てきた会員の声
 - ・改革前
 - ・これからのPTA活動
- ④ 質疑応答・感想交流

参加者16名で、活発な交流が行われました。特に、模擬提案と質疑応答については、参加者それぞれの視点から、具体的な内容が発信されました。以下、参加者の感想です。

○幼稚園の時は似たようなボランティア制だったから、私のように協力したいけど時間がないという立場でも、協力できる活動があったと思い出しました。公立では無理だと思っていましたが、本日のお話で可能性も感じ、自分自身の視野も広がりました。



【グループディスカッションの様子】

○参加できる人ができるときに参加する PTA 活動の話でした。何よりも子ども達のためにやるという改革でした。共働きの時代ですが、PTA を嫌々やるのではなく、PTA を楽しくできるようにになればと思います。

講師の南里さんが最後に述べられたメッセージが大変印象的でした。「PTA 改革を行いました、結局は PTA 活動の原点回帰ということに気が付きました。子どもが幸せになるために活動してきた PTA 活動が、長い歴史を経てぐるりと回り、ボランティア制と形を変えましたが、そもそも PTA とはそういうものだったのではないのでしょうか。」

PTA 改革の方法と PTA 活動のあり方に、視点を当てた本研修会でした。PTA って子ども達の応援団！本来の目的を意識しながら PTA 活動を改善していく大切さが、参加者に伝わったのではないのでしょうか。